

日本語の否定疑問文に対する応答文

——英語教育の立場から——

佐々木 英 樹

YES or NO?

—with Reference to Japanese Negative Questions—

Hideki Sasaki

1 きっかけと目的

1.1 W.L. クラーク¹⁾ は次のように言っている。

否定疑問文 (negative questions) は話者の否定的態度を表わします。否定疑問に答える際の yes と no の使い方に注意してください。同じ質問に答えるにしても、日本語の用法と逆になることがあります。日本語の「はい」「いいえ」は、答える人の気分しだいで使われるので、英語の yes, no ほど使い方が明確ではありません (下線は佐々木)。

否定疑問文に答える日本語の「はい」と「いいえ」がはたして、答える人の気分しだいで使われるのだろうか？それは事実だろうか？また学習者に対して適切な説明であろうか？

1.2 ある高等学校初級用の教科書²⁾ に、次のような対話の漫画が出ている。対話の部分だけを抜き書きする。

1. Teacher : Peter! You're a genius!

Peter : No, I'm not.

2. Teacher : Yes, you are.

Peter : No, I'm not.

3. Teacher : Yes, you are.

Ask Ann.

4. Peter : Ann, am I a genius?

Ann : No, you aren't.

5. Peter : Yes, I am.

Ann : No, you aren't.

6. Peter : Yes, I am.

Ask the teacher.

7. Ann : Is he a genius?

8. Teacher : Yes, he is.

Ann : No, he isn't.

Peter : Yes, I AM.

教師用の指導書には、次のように訳されている (下線は佐々木)。

1. ピーター！あなたは天才よ！

いいえ、僕は違います。

2. はい、あなたは天才です。

いいえ、僕は違います。

3. はい、あなたは天才です。アンに聞いてごらん。

4. アン、僕は天才かい。

いいえ、あなたは違うわ。

5. うん、僕は天才だ。

いや、違うわ。

6. うん、僕は天才だ。先生に聞いてごらん。

7. 彼は天才ですか。

8. ええ、そうよ。

いいえ、そうじゃないわ。

うん、僕は天才なんだ。

上の日本語訳は正確だろうか。特に上で下線を引いたところは誤訳である。筆者なら次のように訳す。

1. ピーター！あなたは天才よ！

いや、僕は天才じゃありません。

2. いいえ、あなたは天才よ。

いや、僕は天才じゃありませんよ。

3. いいえ、あなたは天才よ。アンに聞いてごらん。

4. アン、僕は天才かい。

いいえ、あなたは天才じゃないわ。

5. いや、僕は天才だよ。

いいえ、あなたは天才じゃないわ。

6. いや、僕は天才だよ。先生に聞いてごらん。

7. 先生！ピーターは天才ですか。

ええ、ピーターは天才よ。

いいえ、ピーターは天才じゃありません。

いや、僕は天才なんだ。

指導書の誤訳の原因は、yes=はい、no=いいえ、と機械的に訳している点にある。誤訳はいずれも、直前の否定文を否定している箇所である。このように否定命題のあとにくる yes, no の問題は、否定疑問文に答える yes, no の問題と同質である。

1.3 以上のことが直接のきっかけになり、はたして日本語の否定疑問文にたいする「はい」「いいえ」の応答の実態はどうなのだろうか？安定した動きを見せるものなのか、不安定なものなのか、不安定だったらその原因は何か、それらをアンケート調査で探してみたい、そう思った。それにつけては、統語論の分野に属する現象であるから、音声や語彙などとは違って、地域差は考慮しなくてもよいし、年齢差も作用しない、と考えた。それで筆者の周囲にいる大学生を主たるインフォーマントとして実施することにした。その過程で、確認と比較の意味から、大学生といちばん年齢差がある中学生一年にも同じアンケート調査をすることになる。この小論はその結果報告である。

その結果を報告するまえに、この問題の背景を承知しておくほうがいいから、否定疑問文にまつわる背景を紹介しておこう。

2 これまでの研究

2.1 この問題、つまり、Yes-No Questions (Yes か No で答える疑問文) に対する応答、なかんずく Yes-No Negative Questions に対する応答については、これまでどのように考えられてきたのだろうか？

まず、この問題が本格的に議論され始めたのはじつは比較的最近のことである、ということを描きつけておきたい。これには次の二つの理由がある。

(1) 対照分析（この場合、主として日本語と英語との対照的分析）という視点がなければ発見しにくい性質のものである。

いっぽうに母国語内の音声および語彙（意味と語形）に関する“ゆれ”の存在は、方言相互の比較か

らわりと簡単に発見できる。したがって外国語と母国語とを比較すれば、なおさらのこと音声および語彙（意味と語形）の分野での違いがあるだろうということとは予測が付きやすい。

これに対して、語順・構文といった狭義の文法に関する“ゆれ”は、一言語内ではなかなかないものである。母国語の狭義の文法上の特徴は、外国語との比較対照によって初めてその存在に気づくことが多い。

その証拠に、外国語との対照学的比較の視点をもたない伝統的な文法書、（われわれの場合、日本語および英語の伝統的な文法書）で、否定疑問文に対する応答文の特徴に触れているものはない。

(2) 従来の文法は、もっぱら文の内部現象に的をしばっている。つまり、文内文法であった。

ところが、ここで取りあげる「否定疑問文に対する応答文」は、文と文との間の現象である。つまり、これは一つの文の領域を超えた現象を扱う文間文法に属するものというべきものである。

この点からも、ここで取りあげる問題は、従来言語学者の観察の目から逃れる傾向にあったもの、と言える。

2.2 否定疑問文に対する yes, no の意味が、肯定疑問文に対する yes, no の意味と逆になっている、という事実を描き、「英語の方は論理的で、関連的で、反応的であるが、日本語は、非論理的で非反応的である³⁾」などとする類の説明もかつてはあった。

しかし、現在では次のような解釈が定着している。

「英語においては相手の問いに答える話者が、自分の発言（の文の形式）を肯定で言うか否定で言うかによって、Yes と No とを使い分ける」。いっぽう「日本語では、相手の問いにおける陳述の内容を肯定するか否定するかによって、「はい」と「いいえ」とを使いわけ⁴⁾。」

その他こんにち、日・英語の否定疑問文について言われている特徴をまとめると次のようになる。

(1) 否定疑問文に対する英語式の答え方にも、“ゆれ”がある⁵⁾。

たとえば、「この英語的な肯定・否定の表現を単に Yes or No で表わそうとすると、英米人の間でも誤解を招くことがあるらしく⁶⁾、」とか「英語でも、前述の論理によってでなく、むしろ日本語と同

じ論理で yes, no を選択している場合もある⁷⁾」
という記述はそれを物語っている。

- (2) 否定疑問文の使用率は、肯定疑問文に較べて低い。
肯定疑問文の、日本語では約40%、英語では約20%
にすぎない⁸⁾。

これに関連して、川田順造⁹⁾は「日常の会話、とくに
親しい人のあいだでは、否定疑問形が実に頻繁に用いら
れる」と感想を述べている。これは、上村の統計の結果
と一致しないようだが、その違いの原因は場面の違いか
らくる可能性もあるし、両氏の言う「否定疑問文」の定
義の違いからくる可能性もある。

そこで、「否定疑問文」の定義に触れておきたい。例
えば、吉川武時¹⁰⁾は下記①②の現象を指摘し、

- ①「行きませんか？」
——はい、行きません。
——いいえ、行きます。」
②「行きませんか？」
——はい、行きます。
——いいえ、行きません。」

①は、「誘いかけ」を表す「否定疑問文」。②は、
「相手のことばを純粹の意味にとらえた」応答と説明し
ている。これを筆者のことばで言えば次のようになる。

広義の否定疑問文：①狭義の否定疑問文 ②誘いかけの文

このように、「否定疑問文」ということばには、形式
の面からみた「否定疑問文」と、意味の面からみた「否
定疑問文」とがあるから注意を要する。上では、形式の
面らみた否定疑問文を「広義の否定疑問文」、意味の面か
らみた否定疑問文を「狭義の否定疑問文」と表現した。

- (3) (肯定疑問文でも) 否定疑問文でもともに日本語よ
りも英語のほうが、Yes/No をはっきりさせる傾向
がある¹¹⁾。

英語では《直接的反応》の傾向が見られる。これ
に対して日本語では《直接的反応》と《間接的反
応》との間には差がない。(上村(1987: 321の表2
(ii))参照)

《直接的反応》とは、Yes/No で答えるか、ある
いは Yes/No で答えなくても Yes/No のどちらな
のかを明示している答え方。

- 例1 “I feel so nice and relaxed. Don't you?”
(私とても気分がよくて、ゆったりした気持よ。

あなたは?)

“No.” (僕は違う¹²⁾。)

- 例2 「有りませんか？」

「はい¹³⁾。」

《間接的反応》とは、婉曲的な答え方。

- 例3 “Didn't you tell me to go ahead?” (やれ
っておっしゃったんじゃないくて。)

“A man doesn't tell a woman what to do.”
(男は女にどうしろとは言わない¹⁴⁾。)

- 例4 「Nさん朝からいないの？」

「朝から千葉へ行ってる¹⁵⁾。」

2.3 「日本語の否定疑問文」論の流れを見てみよう。英
語をはじめとする外国語との接触がきっかけになって日
本語の否定疑問文に対する応答文の特徴に気付くことが
できた。それは事実であるが、これがきっかけになり、
国語学の立場からこの問題、および、否定疑問文そのも
のについてさかんに考察するようになった。ここで、日
本語の否定疑問文についての論考を概観しておこう。

われわれの現下の問題「否定疑問文に対する応答」と
いう立場からすれば、大別して、二つの方向を読みとる
ことができる。すなわち、一つは、否定疑問文の話し手が
聞き手に対しどのような回答を期待し、予想しているか、
という語用論的立場のものである。もう一つは、その語用
論的立場では、この現象の一般性がとらえられないとす
る立場である。この二つの立場をすこし詳しく見てみる。

最初の、話し手が聞き手にたいしどのような回答を期待
し、予想しているか、という立場をとる代表として、久
野暉¹⁶⁾と森田良行¹⁷⁾を挙げる。

山口堯二¹⁸⁾は森田がおこなった「否定疑問文」の分類
の方向をさらに徹底し、「疑問表現の表現性に立ち入っ
て¹⁹⁾」「否定の機能の追求をめざし²⁰⁾」「疑問表現に見
られる特殊な否定のはたらきになるべく統一的な解釈、
説明を与えよう²¹⁾」とするものである。しかし、これか
ら分かるように、われわれの現下の問題を直接対象に
論じているわけではないので、これ以上触れないことに
する。

さて、久野は否定疑問文を①中立的の無色のもの、と
②それ以外のもの、に分けている。①が、本稿の対象と
するところの「狭義の Yes-No 否定疑問文」である。
久野は②について論じ、「ハイ」で答えるか、「イエ
エ」で答えるかの判断が、構文法的に定義することは困
難で、質問のイントネーションや非言語的コンテクスト
にもとづくものが数多くある、とむすんでいる²²⁾。

いっぽう森田は、筆者の言う広義の否定疑問を、その

意味にしたがって分類している。森田自身の立てた項目を私見によって整理すれば、次の七つに分類できる。

- ①否定疑問
- ②(a)肯定勧誘・命令 (b)否定勧誘・命令
- ③確認(同意を求める形式)
- ④婉曲(念押し)
- ⑤(a)肯定推量 (b)否定推量
- ⑥(a)肯定感動・驚嘆 (b)否定感動・驚嘆
- ⑦(a)肯定願望・希望 (b)否定願望・希望

久野は、上の森田の分類で言えば、①とそれ以外、という二大分類をしていることになる。

久野はまた、狭義の Yes-No 否定疑問文の応答が「ハイ」になるか「イエエ」になるか、聞き手は「全く五分五分の予期しかしていない²³⁾」と言う。しかし、この点に関して森田の見解は違う。同氏は「肯定的判断が心の背後に潜んでいて」「そうなることを予想し期待しながら」「質している²⁴⁾」とする。

もう一つの立場、つまり、上のような語用論的立場では、この現象に関する一般性をとらえることができないとする立場として中右実²⁵⁾と原口庄輔²⁶⁾を挙げよう。

仁田義雄²⁷⁾は「日本語疑問表現」を疑問表現の本来的な用法である「問いかけ」の文と疑問表現の派生的用法、つまり聞き手に答えを求めることを目的としていない用法である「訴え・働きかけ」の文に二分し、その下位分類を試みている。その意図において、中右(1984)・原口(1989)と通じるところがあるので、ここに紹介するのだが、これも上の山口(1984)と同じく、われわれの現下の問題を対象に論じているわけではないので、これ以上触れないこととする。

さて、中右(1984)・原口(1989)の立場は「一般に否定表現は、話者の予想とは独立に規定すべきである²⁸⁾」という考えである。中右に沿って、具体的な例で説明してみよう。

①郵便屋さん、まだ来てませんか。

②郵便屋さん、もう来たんじゃないですか。

は次のように解釈する。

①' [郵便屋さんがまだ来ていない]A [か]B

②' [郵便屋さんがもう来た]A [のではない]B

〈注〉

(i) 文の意味=命題部分+非命題部分

(ii) []A・[]B=命題部分・非命題部分

(iii) 命題部分=命題内容

(iv) 非命題部分=モダリティ

(v) モダリティ=発話時点における話し手の心的態度
「ハイ」・「イエエ」のいずれで答えるかは、命題部分の内容全体(=全体命題)を是認するか、否認するかによる。是認する場合は「ハイ」で、否認する場合は「イエエ」で応ずる。中右(1984:14)

さらに続けて、否定疑問文を含む「日本語における質疑応答を統御する原理」についてこう結論する。

(1)統語論的性質によるものではない。中右(1984:15)

(2)(久野・森田などが主張する)語用論的含意によってのもない。中右(1984:15)

(3)文の意味内容を命題部分とモダリティとに峻別し、その命題部分の内容を基準軸とする。中右(1984:17)

さいごに田野村忠温の論文²⁹⁾に触れておきたい。これは否定疑問文に対する応答の問題にも触れているけれども、それを直接の考察対象にはしていない。しかし、今紹介した諸論考を踏まえたうえで、否定疑問文(「～ではないか」で代表させている)の重層性を指摘している。「否定疑問文の重層性」の指摘そのものは新しいものではないし、「～ではないか」型が主たる考察対象になっている、などはあるが、各層相互の関係を指摘している、音声上の特徴も考慮している、など注目すべき点がある。その内容の重要な筋みちを紹介しておく。

田野村(1988)は、「疑問文」および「否定疑問文」を次のように定義する。

「疑問文」(i) 終助詞「か」で終わる文。

(ii) 終助詞「か」を伴っていないが、文意に変化を来すことなく「か」を補うことのできる文。

「否定疑問文」主たる述語が否定辞「ない」を伴う疑問文。

これをもとに、「～ではないか」型否定疑問文を次の三つの同音異義文からなっている、とする。

「～ではないか1」:《発見した事態を驚き等の感情を込めて表現したり、ある事柄を認識するよう相手に求めたりする》

「～ではないか2」:《推定を表現》

「～ではないか3」:《「ない」が否定辞本来の性格を発揮する》

さらに、「～ではないか1」と「～ではないか2」・「～ではないか3」の間には「形式と機能の両面において著しい相違が認められる」とし、それを実証しようとしている。

3 以の研究結果を踏まえ、大学生を対象にアンケート

調査を行うことにした。日本語における否定疑問文の応答で、「はい」「いいえ」の使い方に“ゆれ”があるのか、ないのか？あるいは、上の1.1で紹介したように「否定疑問に答える際……日本語の「はい」「いいえ」は答える人の気分しだい」なのか？これらの疑問に答えるべく、その実態を探ることにした。アンケートに協力していただいた大学生は、駒沢女子短期大学英語英文科学生127名、上智大学「言語と人間」・「方言調査方法論」受講学生107名、計234名。その男女別、年齢別の人数は表1、表2のとおりである。

この程度の年齢差は有意差とは考えられないので区別しなかった。男女差は、女197名、男37名で女性が圧倒的多数だが、この文法的現象で男女差があるということは考えにくいので、これも区別しなかった。またインフォーマントの出身地も記入してもらったが、この文法現象で地域差があるということは考えにくいので、これも区別しなかった。このように、全インフォーマントの年齢差、男女差、地域差はすべて捨象した。

しかし、外国語、とくに英語の干渉は考えられることである。現に、上智大学の東京出身の女性(21)は、「頭の中が英語で考えている時は、いいえ～ない、はい～ある、と答えますが、その点日本式・アメリカ式両方考えられるのであやふやになってしまいました」と述懐している。

表 1

	年	18	19	20	21	22	23	24	25	計
駒沢女短	女	93	33	1	0	0	0	0	0	127
上智大	女	15	27	17	6	2	2	1	0	70
	男	4	15	7	4	4	2	0	1	37

(注) 駒沢女子短期大学：

1989年6月14日(水)実施 127名

上智大学：

1989年7月4日(火)実施 89名

1989年7月8日(土)実施 18名

表 2

年	18	19	20	21	22	23	24	25	計
女	108	60	18	6	2	2	1	0	197
男	4	15	7	4	4	2	0	1	37
計	112	75	25	10	6	4	1	1	234

調査は口頭面接によるものではなく、筆記選択回答によった。以下、表3として質問票を示す。

表 3

アンケート

次の各問に①—④の中から○をつけて、答えてください。(時 分)

1. あなたの睡眠時間はたりませんか？

- ① () いいえ、たりません。
 ② () いいえ、たりています。
 ③ () はい、たりません。
 ④ () はい、たりています。

2. あなたは授業中に眠(ねむ)くなることはありますか？

- ① () いいえ、ありません。
 ② () いいえ、あります。
 ③ () はい、ありません。
 ④ () はい、あります。

3. あなたはお酒類はあまり飲みませんか？

- ① () いいえ、飲みません。
 ② () いいえ、飲みます。
 ③ () はい、飲みません。
 ④ () はい、飲みます。

4. あなたはなにかクラブに入っていないませんか？

- ① () いいえ、入っていません。
 ② () いいえ、入っています。
 ③ () はい、入っていません。
 ④ () はい、入っています。

5. まもなく夏が来ます。あなたは泳げませんか？

- ① () いいえ、泳げません。
 ② () いいえ、泳げます。
 ③ () はい、泳げません。
 ④ () はい、泳げます。

6. あなたはふだん、あまり手紙は書きませんか？

- ① () いいえ、書きません。
 ② () いいえ、書きます。
 ③ () はい、書きません。
 ④ () はい、書きます。

7. あなたは卒業後のことを心配していませんか？

- ① () いいえ、心配していません。
 ② () いいえ、心配しています。

- ③ () はい、心配していません。
④ () はい、心配しています。

8. あなたは新しい総理大臣の名前は知りませんか？

- ① () いいえ、知りません
② () いいえ、知っています。
③ () はい、知りません。
④ () はい、知っています。

9. あなたは、ふだん弁当をもってきませんか？

- ① () いいえ、もってきません。
② () いいえ、もってきます。
③ () はい、もってきません。
④ () はい、もってきます。

10. あなたは食べ物に好き嫌いがありますか？

- ① () いいえ、ありません。
② () いいえ、あります。
③ () はい、ありません。
④ () はい、あります。

11. あなたの家にビデオ・テープレコーダはありますか？

- ① () いいえ、ありません。
② () いいえ、あります。
③ () はい、ありません。
④ () はい、あります。

12. あなたの家に犬はいますか？

- ① () いいえ、いません。
② () いいえ、います。
③ () はい、いません。
④ () はい、います。

あなたは 女姓・男姓 年令 () 才

出身地 ()

ご協力くださいまして、ありがとうございました。
(時 分)

以上12の質問項目のうち、最後の11, 12は駒沢女子短大の調査終了後、追加したもので、上智大学生のみ回答した項目である。

大学生のアンケート調査と平行して、これら大学生といちばん年令差があり、しかもいわゆる“言語形成期”を終えつつあると考えられる中学一年生にも同じアンケート調査を実施した。ただし、上のアンケート項目の内、11, 12は含まれていないものである。駒沢学園女子中学校一年の二クラスの生徒を対象とした。その年令別の数は表4のとおりである。この中学生対象のアンケート調査においても年令差、地域差は、大学生のところで述べたのと同じように、有意差があるとは思えないので、捨象した。

表 4³⁰⁾

	年	12	13	計
駒 沢 女子中	女	55	7	62

調査結果は次のように集計した。「はい」および「肯定文」をそれぞれYで表す。「いいえ」および「否定文」をそれぞれNで表す。すると、各質問項目の回答選択肢は次のように略記できる。①N+N, ②N+Y, ③Y+N, ④Y+Y。これを使って言えば、否定疑問文に対する応答は、一般に英語が①・④で、日本語が②・③である。そこで、回答肢を①・④と②・③の二つの群にわけて、該当する回答を集計した。その結果が表5である。

表 5

項 目 No.	①N+N・④Y+Y		②Y+N・③Y+N	
	中 学	大 学	中 学	大 学
1	11 (18)	22 (9)	51 (82)	211 (91)
2	52 (84)	168 (72)	10 (16)	66 (28)
3	19 (31)	18 (8)	43 (69)	216 (92)
4	32 (52)	108 (46)	30 (48)	126 (54)
5	10 (16)	14 (6)	52 (84)	220 (94)
6	7 (11)	13 (6)	55 (89)	220 (94)
7	45 (73)	133 (57)	17 (27)	101 (43)
8	21 (34)	44 (19)	41 (66)	190 (81)
9	13 (21)	41 (18)	49 (79)	193 (82)
10	34 (55)	88 (38)	28 (45)	146 (62)
11		56 (52)		51 (48)
12		47 (44)		60 (56)

(注) 数字は実数。但し、() 内は%。母集団は中

学 62, 大学 234。但し, 項目No. 6 の大学の母集団は233。さらに, 項目 Nos. 11, 12 (大学のみ) の母集団は107。

この集計結果を見てひじょうに大ざっぱなことを言えば, ②・③の日本語式応答が支配的である。しかし, 詳しく見てみると, そうでないものもある。

総合的に見ると, 12の調査項目を大きく三つのグループに分けることができる。第1群は, 中学, 大学とも英語式応答(①・④)の傾向がある項目。第2群は, 多少の差があるとはいうものの, 中学, 大学とも(但し, 項目 Nos. 11, 12 は大学のみ), 英語式応答(①・④)と日本語式応答(②・③)がほぼ半々の傾向にある項目。最後の第3群は, 中学, 大学とも日本語式応答(②・③)の傾向が強い項目。以下, 各群ごとに説明を加える。

第1群. 中学, 大学とも英語式応答(①・④)の傾向が強い項目: 中学と大学では率は異なるが, 大学のほうの数字で高い順に各質問文を並べると, 次のようになる。

項目No. 2 「あなたは授業中に眠くなることはありませんか？」

項目No. 7 「あなたは卒業後のことを心配していませんか？」

「眠くなりませんか」ではなく「眠くなることはありませんか」であり, 「心配しませんか」ではなく「心配していませんか」であることに注意すべきだ。すなわち, 項目 Nos. 2, 7 はともに, 補助動詞の部分が否定化された形式である。この種の文は, 純粋な否定文——本動詞が否定化された文——とは区別されるべきものである。文が命題とモダリティから成っているとすれば, この否定辞はモダリティに付属するもので, この場合「ていねい」という文体的特徴を付加している。この群の英語式応答の傾向は, 数字から言えば, 大学よりも中学のほうが強い。しかし, 中学の調査数は少ないから, 数字だけから強い主張をするのは控えるほうがいい。

第1群に属するのは, この二項目だが, この群は第2群と密接な関係がある。

第2群. 英語式応答(①・④)と英語式応答(②・③)がほぼ半々にある傾向にある項目。

項目No. 4 「あなたはなにかクラブに入っていますか？」

項目No. 10 「あなたは食べ物に好き嫌いがありますか？」

項目No. 11 「あなたの家にビデオ・テープレコーダはありませんか？」

項目No. 12 「あなたの家に犬はいませんか？」

以上の4項目がこの群にあたる。項目No. 4 は第1群と同じく, 補助動詞の否定化である。しかし, 項目 Nos. 10, 11, 12は補助動詞の否定化ではなく, 本動詞の否定化である。それなのに, 英語式応答と日本語式応答がほぼ半々であるということは, どう説明したらいいのか? それはこう説明すべきだろう。つまり, これは本動詞「ある・いる」の否定化が, 補助動詞「ある・いる」に否定辞が付いて「ていねい」な言い方になった用法に引き寄せられたのである。補助動詞「ある・いる」の否定化は「否定」の意味ではなく, むしろ, その文体をていねいにする役割を果たしている。数字の上だけから言えば, 項目No. 10 「好き嫌いがありますか」は, 中学はわずかながら, 補助動詞の否定化とみる傾向が強いのに対して, 大学は本動詞の否定化とみる傾向が強い。

第3群. 中学・大学とも日本語式応答(②・③)の傾向が強い項目。大学のほうの数字で高い順に質問文を並べると次のようになる。

項目No. 5 「あなたは泳げませんか？」

項目No. 6 「あなたはふだん, あまり手紙は書きませんか？」

項目No. 3 「あなたはお酒類はあまり飲みませんか？」

項目No. 1 「あなたの眠睡時間はたりませんか？」

項目No. 9 「あなたは, ふだん弁当をもってきませんか？」

項目No. 8 「あなたは新しい総理大臣の名前は知りませんか？」

以上はすべて, 本動詞に直接否定辞がついたものではない。つまり「泳げない」「書かない」「飲まない」「たりない」「もってこない」「知らない」ではなく, 「泳げます」「書きます」「飲みます」「たります」「もってきます」「知っています」の否定化である。もっとも, 「知りません」は「知っています」+否定辞である。下記参照。

* 知ります	知っています
知りません	* 知っていません

(注) *印は文法的ではないことを示す。



知っています。
知りません。

この群で特徴的なことは、日本語式応答の割合が、Nos. 5. 6. 3. 1. はいずれも91~94%であるが、Nos. 9. 8. は81~82%で前者との差が大きい、ということである。

4 以上のようなアンケートの結果から、日本語の否定疑問文に対する応答について、どのような知見が得られただろうか。

(1) 形式上の否定疑問文は、二大別すべきである。

①狭義の否定疑問文

②狭義の否定疑問文以外

そして、①狭義の否定疑問文に対しては、否定疑問文の日本語式応答がふつうであり、②狭義の否定疑問文以外の文の場合は、肯定疑問文に対する応答と同じである。

(2) 狭義の否定疑問文に対する応答は、上記(1)でも指摘したように、日本要式応答がふつうである。具体的言えば、中学・大学のアンケート調査に基づけば、100人のうち80~90くらいの人が日本語式で応答する、ということである。中学一年生の場合もだいたいそんなものであるが、項目 Nos. 3, 8 に関していえば、日本語式で応答するのは100人のうち60人、という割合のものもある。

ここで注目すべきは、日本語式の応答をする第3群に挙げた項目は、おしなべて、日本語式応答の割合は、大学生より中学1年生のほうが低い。これについては、中学生の調査数が62名であるということを念頭におきつつも、次のようなことが考えられる。

母国語の習得に際しては、とうぜん習得事項の相対的順位というものがある。その相対的順位において、狭義の否定疑問文にたいする日本語式応答は、そうとう遅い段階に位置していると推測できる。言語形成期の最終段階にさしかかろうとしている中学1年生にとっては、この文法事項の学習がまだ不完全な状態にある。このように考えれば、中学と大学の安定度の違いが説明できる。

(3) 外国語、とくに英語教育の影響で否定疑問文にどのように答えたらいいのか迷う状況もある。そうでないにしても、数字からみれば非日本語式で答える者もいる。つまり、“ゆれ”を認めるこ

とができる。しかし、「否定疑問文に答える際…日本語の「はい」「いいえ」は答える人の気分しだいで使われる」という記述は言い過ぎである。あるいは、上の記述は「狭義の否定疑問文」ではなく、「広義の否定疑問文」についてみた感想かもしれない。もしそうなら、この広狭二義の否定疑問文は区別して考えるべきである。そうすれば、「気分しだい」などとは言えないはずである。

(4) 日本語式は英語で代表した非日本語式にくらべて、相手の命題に対する応答であるから、原理的に難しい点がある。二重否定、三重否定の場合を考えれば分かることである。もし、相手の疑問文に二重ならまだしも、三重、四重の否定が入ったら、もうお手あげである。世界の言語の中で、日本語式は少数派であることが予想できる。英語式の応答が原理的に容易であり、日本語式言語の数より英語式言語の数のほうが多いはずである。

注：

1) W.L. クラーク『アメリカ口語教本・入門用（新訂版）』研究社、1989, p. 16. なお、同シリーズ『初級用』pp. 54-55 & pp. 140-141 でも否定疑問文を取りあげ説明を加えている。

2) *Revised Fresh English I*. 第一学習社、昭和63年、第二課。

3) 喜多史郎『シナリオと口語表現』研究社、1954, p. 313.

4) 大塚高信（編）『新英文法辞典（改訂増補版）』三省堂、1970, s. v. Affirmation

なお石橋幸太郎他（編）『現代英語学辞典』成美堂、1973, s. v. Affirmation では、こう言っている。

「日本語の「はい」「いいえ」は問いに関係する点で相手本位であり、英語は Yes, No は答えに関係する点で自己本位である」

5) Yes-No Questions の応答で、ドイツ語・フランス語については次のような現象がある。

ドイツ語では、肯定疑問文に肯定で答える時には Ja を用いる。しかし、否定疑問文に否定で答える（つまり肯定の返事をする）時は、Ja ではなく、Doch を使う。またフランス語では、肯定疑問文に肯定で答える時には Oui を用いる。しかし、否定疑問文に否定で答える（つまり肯定の返事をする）時は、Oui ではなく、Si を使う。

上のような記述がほぼ普遍的であるが、その実態はかならずしも安定したものではない可能性もあることを指摘しておきたい。ここでは、そう考える根拠を以下①—④として示すにとどめる。

①国松孝二他(編)『小学館独和大辞典』小学館, 1988. 「否定を含む問いに対して、それを打ち消して肯定の返事をする場合には doch を用いる: Hast du keinen Hunger? —Doch! 君はおなかがすいていないかい——いやすいているよ。ただし強い感情をこめて肯定したい場合には ja を用いることもある: Er weiß es doch nicht? —O ja, er weiß es. 彼はそれを知らないだろうね——いや知っているとも」(S. 1134)

②Otto Springer (Hrsg) *Langenscheidts Enzyklopädisches Wörterbuch: Deutsch-Englisch, Langenscheidt*, 1979. は siehst du es nicht? Doch! don't you see it? Yes, I do. の例を挙げ, colloq. (口語体) という文体表示をしている。(S. 386)

③上記の②の Otto Springer (1979) では、また次のような例文を挙げている。erinnerst du dich nicht? ja freilich! don't you remember? yes, of course. (S. 848)

④『小学館ロベール仏和大辞典』小学館, 1988. 「否定疑問に対する肯定の答えは si を用いる。oui で答えるのは古い用法または地域語法。」(p. 1720)

因みに、否定疑問文に対するフランス語 non の用法について、田辺貞之助『現代フランス文法』白水社, 1987. pp. 373-4. はモーパッサンから引用している。Ca n'est pas vrai! —Non, c'est vrai, mon enfant. 本当じゃありません。——いいえ、本当なの。せがれや。その説明に「相手の言葉の否定を打消すもので、結果は強い肯定」とある。ただし、モーパッサン Guy de Maupassant (1850-93) は現代人ではない。

- 6) 大塚 (1970), s. v. Affirmation.
- 7) 中野道雄「発想と表現の比較」『日英語比較講座・4・発想と表現』(国広哲弥・編) pp. 33-65 のうち p. 44.
- 8) 上村隆一「Yes-No 疑問文に対する応答——日英比較の立場から——」『言語学の視界』大学書林, 1987, pp. 309-326. 「英語に関しては英米の戯曲脚本 7 点, 日本語に関してはテレビドラマ脚本 8 点」(p. 319) からサンプルを収集し、それを統計的に扱ったものの。

上村が採取した Yes-No 疑問文(「ある既知情報……」について「話し手」が「聞き手」に真偽の判

断を求める形式」(p. 311)) の種類と各サンプル数は下記の通り。

	肯定疑問文	否定疑問文	付加疑問文
日本語	230 (59%)	90 (23%)	70 (18%)
英語	293 (71%)	55 (13%)	64 (16%)

- 9) 川田順造「「はい」と「いいえ」のあいだ」『岩波講座日本語・月報13』(別巻付録) 岩波書店, 1978, p. 3.
- 10) 吉川武時『日本語文法入門』アルク, 1989, pp. 26, 27, 151.
- 11) 上村 (1987: 322)
- 12) 喜多 (1954: 278)
- 13) 岩淵悦太郎(編)『ことばの現代風景』筑摩書房, 1955. p. 86.
- 14) 喜多 (1954: 254)
- 15) 岩淵 (1955: 152)
- 16) 久野暉『日本文法研究』大修館書店, 1973.
- 17) 森田良行『基礎日本語』角川書店, 1977.
- 18) 山口堯二「疑問表現の否定」『国語と国文学』第61巻第7号(1984年7月号) 東京大学国語国文学会, pp. 53-66.
- 19) 山口 (1984: 53)
- 20) 山口 (1984: 53)
- 21) 山口 (1984: 53)
- 22) 久野 (1973: 184)
- 23) 久野 (1973: 180)
- 24) 森田 (1977: 339)
- 25) 中右実「質疑応答の発想と論理」『日本語学』明治書院, 1984. 4., pp. 13-20.
- 26) 原口庄輔「それはおかしいんじゃないですか」『月刊言語』1989. 4., pp. 122-123.
- 27) 仁田義雄「日本語疑問表現の諸相」『言語学の視界』大学書林, 1987, pp. 179-202.
- 28) 原口 (1989: 123)
- 29) 田野村忠温「否定疑問文小考」『国語学』(152集) 1988, pp. (16) — (30).
- 30) 駒沢学園女子中学校第一学年のクラス担任でいらっしゃいます横室治先生それに黒田美枝先生には、アンケート実施に際しまして特別のご便宜をはかっていただきました。この場をお借りしましてそのご好意に厚くお礼を申し上げます。